

アウトカム指標は短期間では成果が見えにくい、長期にわたって継続的に把握・分析しアクションにつなげることが重要であることから、高齢者を取り巻く課題に対して総合的・包括的にとらえることができるものを選定することとした。なお、アウトプット指標は各事業ごとに記載しアウトカム指標を補完する。

- 重点1  
フレイル予防や介護予防・健康づくり施策の充実、推進
- 重点2  
認知症施策の推進「共生と予防」
- 重点3  
2025年、2040年を見据えた持続可能な基盤整備

- 第1章 生きがいづくりと健康づくりの推進
- 第2章 住み慣れた地域で暮らし続けるための支援
- 第3章 安心して介護サービスが受けられるための環境づくり
- 第4章 適切な介護サービス等を提供するための基盤整備

■ 印は、第五次長野市総合計画の統計指標またはアンケート指標を、○印は、現行プランの指標を表す。

統計/ アンケート	総合 計画	現行 プラン	指標名	指標の内容	指標設定の意義(意味)*一部現行プランP142抜粋	主な関連項目						実績値				目標値			単位	目標値の設定根拠	担当課					
						重 1	重 2	重 3	章 1	章 2	章 3 4	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度								
1	統計	■	○	社会参加している60歳以上の市民の割合	「就労(仕事に就き、その対価を得ている)」「ボランティア」「興味関心のある活動」等、社会と関わる活動をしている60歳以上の割合	高齢者の社会参加の状況を表す	✓						83.5	81.9	82.2	81.4	84.0	84.0	84.0	%	高齢社会対策大綱(平成30年2月16日閣議決定)「社会的な活動を行っている高齢者の割合」の数値目標と本市の実績値を基に算出	高齢者 活躍支援課 地域包括 ケア推進課				
2	統計	■	○	健康寿命(年)	介護保険の要介護度の要介護2~5を「不健康な状態」として算定した日常生活動作が自立している期間の平均	市民が健康づくりに取り組み、要介護状態でなく健康で自立した日常生活ができていない状況を表す	✓						男性80.94 女性85.16	男性82.06 女性86.96	R2. 12月 算出予定		平均寿命 の増加分 を上回る 健康寿命 の増加	平均寿命 の増加分 を上回る 健康寿命 の増加	平均寿命 の増加分 を上回る 健康寿命 の増加	年	国の健康日本21(第二次)を踏まえて設定	健康課 地域包括 ケア推進課				
3	統計	■	○	要介護ではない高齢者の割合	高齢者(65歳以上)のうち、要介護認定(要介護1~5)を受けていない人の割合 各年9月末現在で算出	高齢者に対する介護予防の効果を表す	✓						86.5	86.6	86.7	86.8	86.9	87.0	87.1	%	介護予防等の効果により各年0.1Pずつの増加を目指す	地域包括 ケア推進課 介護保険課				
4	統計			脳卒中を発症したことによる要介護認定を受けている人の割合	KDB(国保データベース)により算出	脳卒中が原因である人が減少することにより高齢者に対する保健事業と介護予防の一体的な実施の効果を表す	✓	✓					算	定	中					%		国民健康保険課 健康課 高齢者活躍 支援課 地域包括ケア 推進課				
5	統計			介護予防に資する介護予防の場への高齢者の参加率	通いの場の台帳・登録数・参加者数	介護予防・健康づくり政策が充実・推進している状況を表す	✓	✓					-	-	371 5,534	400 6,100	450 6,700	480 7,250	520 7,800	か所 人	高齢者の通いの場への参加率 令和7年度の国目標値8%を目指す	地域包括 ケア推進課				
6	統計			在宅等での看取り率 (上段:自宅での死亡率 下段:老人ホームでの死亡率)	自宅死、老人ホームでの看取りの割合	住み慣れた在宅等で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる状況を表す							10.6 9.9	10.9 11.7	算定中					11.0 12.0	11.0 12.1	11.0 12.5	% %	自宅死は、全国・県ともに横ばいで推移。老人ホーム死は増加傾向。老人ホームでの看取り対応施設を増やす。	地域包括ケア 推進課 保健所総務課 医療連携推進課 高齢者活躍 支援課	
7	統計		○	成年後見支援センターにおける高齢者の相談件数	成年後見支援センターにおける高齢者の相談件数	成年後見制度の利用を促進していることを表す	✓						603	835	667					817	838	856	件	772件(H26~R02相談件数平均値)×1,058(広域化による増加率)=817件(R3年度)、高齢者×人口伸び率(R4->1.0104、R5->1.0156)	地域包括 ケア推進課	
8	アンケート		○	介護サービス事業所における従業員数の充足度	従業員数が充足している事業所の割合(無回答を除く)	介護サービス事業所において必要な人材が確保できているかどうかを表す							43.5	-	-					36.2	50.0	50.0	50.0	%	労働者人口が減少し多くの産業において人材不足が発生している中で人材確保対策の効果が十分に見込めるまでには長期的な対策が必要なため、当面の目標として全体の半数と設定した。	高齢者 活躍支援課
9	アンケート	■		ご近所の高齢者を温かく見守り、必要なときには手助けしている	近所の高齢者の手助けをしている人の割合	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っているかどうかを表す							56.6	49.7	52.3	54.7	上昇	上昇	上昇	%		地域包括 ケア推進課				
10	アンケート			介護・介助者が認知症状への対応に不安を感じる割合	介護・介助者が不安を感じる介護等のうち、「認知症状への対応」と回答した人の割合	割合が減少したことにより、認知症政策が推進していることを表す	✓						17.6	-	-	24.8	24.5	-	24	%	認知症の人数は増加しているが、認知症疾患医療センターなど医療面の充実と、チームオレンジなど地域の支え合いの充実により減少を目指す。	地域包括 ケア推進課				
11	アンケート	■	○	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている割合	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整備されていることを表す							42.4	38.5	37.6	45.1	上昇	上昇	上昇	%		地域包括 ケア推進課				